

授 業 科目名	【 G 】	特別支援教育論	区 分		開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	特別支援教育論				【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独		教員の免許状取得のための必修科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解					
サブ タイトル	特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する具体的な支援方法を理解する。					担当者	石井 浩	
授業概要	【概 要】	特別支援教育の理念、歴史、制度、インクルーシブ教育システムの考え方についての理解を深める。その上で、視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・知的障害・発達障害など、各障害の特性と困難さ、教育的支援の方法を具体的に理解する。 また、自立活動、個別の教育支援計画・個別の指導計画についての理解を深める。その上で、小中学校の通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒や、外国につながる子ども、貧困家庭の子ども、ヤングケアラー等にも焦点をあてて理解を深め、具体的な支援方法や学級経営の在り方等を学ぶ。						
	【到達 目標】	・特別支援教育の基本理念と法制度を理解する。 ・障害の種類や特性、学習上・生活上の困難さについて説明できる。 ・自立活動の概要について理解する。 ・特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する具体的な支援方法を理解する。						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	教職課程科目ではないが、「介護等体験」等の実習							
教科書	特に指定しない。毎回、プリントや資料を配付する。							
参考書	川合紀宗・若松昭彦・氏間和仁・林田真志編著「特別支援教育総論 インクルーシブ時代の理論と実践【第2版】北大路書房 大塚玲編著「インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門」萌文書林							
評価方法	授業内容に関する提出レポート(授業内学習シートを含む)と授業内試験の結果から総合的に判断する。 【評価基準の割合】課題レポート(授業内学習シートを含む)40点、事前・事後学習レポート20点、授業内試験40点（合計100点）							
フィードバック 方法	各授業回で提出されたレポートについては、次の授業回で講評・解説を行う。 授業内試験の結果については、次の授業回で講評・解説を行い、模範解答を示す。							
評価基準	上記授業内容について、これを良く理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」又は「A」を与える。授業内容についての理解表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など、評価不能の場合には「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】 特別支援教育論	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】 特別支援教育論			【 H 】 2		【 H 】 2
授業回数	授業内容					
1	1 オリエンテーション 1)授業の目標 2)授業の内容 3)受講のルール について 2 特別支援教育の理念と制度① 1)特別支援教育とは					
	予習： 特別支援教育の推進について(通知)を読み、要点をまとめる。 復習： 特別支援教育の理念について事後シートに整理する。					
2	○特別支援教育の理念と制度② 1)我が国の特別支援教育に関する歴史 2)インクルーシブ教育システム					
	予習： 21世紀の特殊教育の在り方(最終答申)を読み、事前シートにまとめる。 復習： 特別支援教育の制度について事後シートに整理する。					
3	○特別支援教育の対象とその内容① 視覚障害教育、視覚障害特別支援学校、弱視特別支援学級等の法制度、内容について					
	予習： 視覚障害教育や視覚障害特別支援学校の役割やその内容について調べる。 復習： 視覚障害教育について事後シートに整理する。					
4	○特別支援教育の対象とその内容② 聴覚障害教育、聴覚障害特別支援学校、難聴特別支援学級等の法制度、内容について					
	予習： 聴覚障害教育や聴覚障害特別支援学校の役割やその内容について調べる。 復習： 聴覚障害教育について事後シートに整理する。					
5	○特別支援教育の対象とその内容③ 知的障害教育、知的障害特別支援学校、知的障害特別支援学級等の法制度、内容について					
	予習： 知的障害教育や知的障害特別支援学校の役割やその内容について調べる。 復習： 知的障害教育について事後シートに整理する。□					
6	○特別支援教育の対象とその内容④ 肢体不自由教育、肢体不自由特別支援学校、肢体不自由特別支援学級等の法制度、内容について					
	予習： 肢体不自由教育や肢体不自由特別支援学校の役割やその内容について調べる。 復習： 肢体不自由教育について事後シートに整理する。					
7	○特別支援教育の対象とその内容⑤ 病弱教育、病弱特別支援学校、身体虚弱特別支援学級、院内学級等の法制度、内容について					
	予習： 病弱教育や病弱特別支援学校の役割やその内容について調べる。 復習： 病弱教育について事後シートに整理する。					
8	○特別支援教育の対象とその内容⑥ 通常の学校における特別支援教育 情緒障害、発達障害(LD、ADHD、ASD等)、言語障害教育の内容					
	予習： 情緒障害、発達障害(LD、ADHD、ASD等)、言語障害教育について調べる。 復習： 通常の学校における特別支援教育について事後シートに整理する。					
9	○自立活動の指導内容と個別の教育支援計画・個別の指導計画について					
	予習： 自立活動の指導内容について事前シートにまとめる。 復習： 個別の教育支援計画と個別の指導計画に関して事後学習シートに整理する。					
10	○グループワーク 事例検討:発達障害のある児童生徒に対して、学級担任としてどう対応するか。 ※個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成演習					
	予習： 事例について検討し、事前シートを作成する。 復習： グループワークについて事後シートにまとめる。					
11	○ロールプレイ 発達障害教育における自立活動(人間関係の形成)「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」演習					
	予習： ソーシャルスキルトレーニング(SST)について調べる。 復習： 「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」演習について事後シートにまとめる。					
12	○特別な教育的ニーズ：外国につながる子ども、貧困家庭の子ども、ヤングケアラーについて					
	予習： 特別な教育的ニーズについて調べる。 復習： 特別な教育的ニーズについて事後シートに整理する。					
13	○千葉県の特別支援教育の取り組みについて 1)千葉県特別支援教育推進基本計画 2)障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例					
	予習： 千葉県の特別支援教育の取り組みについて調べる。 復習： 千葉県の特別支援教育について事後シートに整理する。					
14	○【授業内試験】 ・筆記試験(第1回から第13回の授業内容から出題) ○授業内試験の要点解説 * 授業内試験未受験者については、別途対応する。 * 授業内試験の結果については、次の授業回で講評・解説を行い、模範解答を示す。					
	予習： 第1回から第13回の授業内容を復習しておく。 復習： 試験の重点内容の見直しを行う。					
15	○授業内試験の講評・解説を行う。 ○特別支援教育を実践し、推進するための望ましい教師像とは					
	予習： 前回実施した授業内試験について自己評価をしておく。 復習： 講義内容を整理し、特別支援教育の全体について再確認する。					
その他	特になし					